

令和2年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

佐賀県

行事名称	多久聖廟消防設備操作研修（文化財防火デー）
実施期間・日時	令和3年1月28日（木）9：30～10：00
実施場所	国史跡・重要文化財 多久聖廟（佐賀県多久市多久町1642）
主催者	（公財）孔子の里、多久市観光協会、多久市教育委員会

■実施内容

訓練の想定

（公財）孔子の里の施設管理人交代などに伴い、火災発生時の自火報の発報からその後の行動と、設置設備の操作方法について改めて関係部署と共有するための研修の実施。（新型コロナウイルス感染症感染防止のため、消防署・消防団および市民の参加による訓練は中止。）

訓練の内容

自火報の発報など異常を察知してからの行動（現地確認・通報）の確認。
屋外設置放水銃の操作方法の確認。放水の確認。
消火ポンプの起動から停止、復帰の操作手順の確認。

参加者及び役割分担

公益財団法人 孔子の里（2名）：通報、初期消火設備操作確認
多久市観光協会（1名）：通報、初期消火設備操作確認
多久市教育委員会（4名）：行動・操作説明、立会、記録

特に工夫した点

施設管理人の交代など、人員の交代時にも行動・操作が円滑に対応できるよう細かい手順を説明した。

問題点・課題

前回までの訓練で、設置放水銃以外の消火栓など水利施設が遠いとの意見があるので検討を要す。

その他

毎年文化財防火デーの期間に合わせて文化財建造物等の消防訓練を実施しているが、形式化することなく関係者各々の防災意識を高めるよう心掛けたい。

訓練風景



放水銃操作説明



ポンプ室の機械操作説明